エコアクション21

環境経営レポート

（対象期間　：　2023年4月～2024年3月）

発行日：2024年　12月　26日

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です

エコアクション21

認証番号 0013253

株式会社　四国工営

《　目　次　》

1. 組織の概要

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

3. 環境経営方針

4. 環境管理組織実施体制

5-1. 環境経営目標【12ヶ月間の目標】

5-2. 環境経営目標【中長期目標】

6. 環境経営計画

7. 環境経営目標の実績 【12ヶ月間の実績及び目標達成状況】

8.環境経営の取組み計画と評価及び次年度の取り組み内容

9. 次年度の環境経営計画

10.環境関連法規等への順守状況の確認、評価結果

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

12. 環境経営取組状況

発行日:　2023年5月31日
発行責任者:環境管理責任者　西澤　祥子

１．組織の概要

1. 事業所名及び代表者名

株式会社　四国工営
代表取締役　西澤　哲志

2. 所在地

本社：　高知県高知市布師田1581-5
第１駐車場：　南国市岡豊町滝本字流田264-1
第２駐車場：　高知市布師田字マサキ131番、132番1、133番1
自社処分場：　南国市岡豊町定林寺字岩倉609
岡豊工場：　南国市岡豊町滝本1070

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者氏名　　西澤　祥子
連絡先　　ＴＥＬ：０８８－８４５－８６４５
ＦＡＸ：０８８－８４５－８６４６
E-mail：mail@shikokukouei.com

4. 事業活動の内容

【建設業】　（建設業許可）
許可番号：　高知県知事　許可 般・５　第８６６４号
許可年月日：　令和5年9月16日　　許可年月日：　令和10年9月15日
建設業の種類：　土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業、解体工事業

【産業廃棄物収集運搬業】
（産業廃棄物収集運搬業許可）
許可番号：　03910115215号
許可年月日：　令和6年11月22日　　許可の有効年月日：令和11年11月21日
事業の区分：　収集・運搬（積替え又は保管を含む）
産業廃棄物の種類：　燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、ばいじん、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物

［積替保管施設］
所在地：　南国市岡豊町定林寺字岩倉609
面積：　200m2　　保管上限：　105.0m3

（特別管理産業廃棄物収集運搬業許可）
許可番号：　03960115215号
許可年月日：　令和3年4月4日　　許可の有効年月日：令和8年4月3日
事業の区分：　収集・運搬（積替え又は保管を含む）
産業廃棄物の種類：　廃油、廃石綿
［積替保管施設］
所在地：　南国市岡豊町定林寺字岩倉609
面積：　15.7m2　　保管上限：　4.0m3

【産業廃棄物自社処分場】
（安定型最終処分）
施設の種類：　安定型最終処分場
産業廃棄物の種類：　がれき類、廃プラスチック類、金属くず、ゴムくず、ガラスくず及び陶磁器くず
所在地：　南国市岡豊町定林寺字岩倉608、609
南国市岡豊町定林寺字フトガウ子618イ
処理能力：　埋立地面積　2996㎡　、　埋立容量　37500㎥

【一般貨物自動車運送事業】

事業者番号： 83-518

5. 事業規模

設立年月日： 昭和59年10月11日

資本金： 5,000千円

売上高： 138,320万円（決算時期　4月1日～翌年3月31日）

従業員数： 42人　（2024年12月現在）

事業所面積		
【本社】	事務所	164㎡
	倉庫	25㎡
	資材置き場	84㎡
	駐車場	360㎡
【第１駐車場】	駐車場	666㎡
【第２駐車場】	駐車場	909㎡
【自社処分場】	焼却炉：焼却能力182kg/ｈ	
	： 火格子面積1.8㎡	
	自社処分場	654㎡
【岡豊工場】	資材置き場	3200㎡

事業所延べ床面積	
事務所	164㎡
倉庫	25㎡

受託した収集運搬量
2022年4月～2023年3月
14,513.91　t

運搬車両の種類・台数
ダンプ（10ｔ車）11台
ダンプ（ 4ｔ車） 6台
ダンプ（ 2ｔ車） 5台

２．認証範囲、事業活動、レポートの対象期間及び発行日

1. 対象範囲（認証・登録範囲）

株式会社　四国工営　　全社

2. 事業活動

建設業（解体工事業）、産業廃棄物収集運搬業
木質バイオマスの製造・販売、造林業

3. レポートの対象期間

2023年4月から2024年3月

4. 環境経営レポートの発行日

2024年　12月　12日

5. 次回環境経営レポートの発行予定日

2025年5月予定

6. 作成責任者

環境管理責任者　西澤　祥子

３．環境経営方針

自然溢れる四国　高知の地から、安心・安全・清潔な廃棄物サイクルを
実現すべく、日々努力しております。
環境汚染の予防に向けて目標を設定し、社員一丸となって
取り組んでいます。

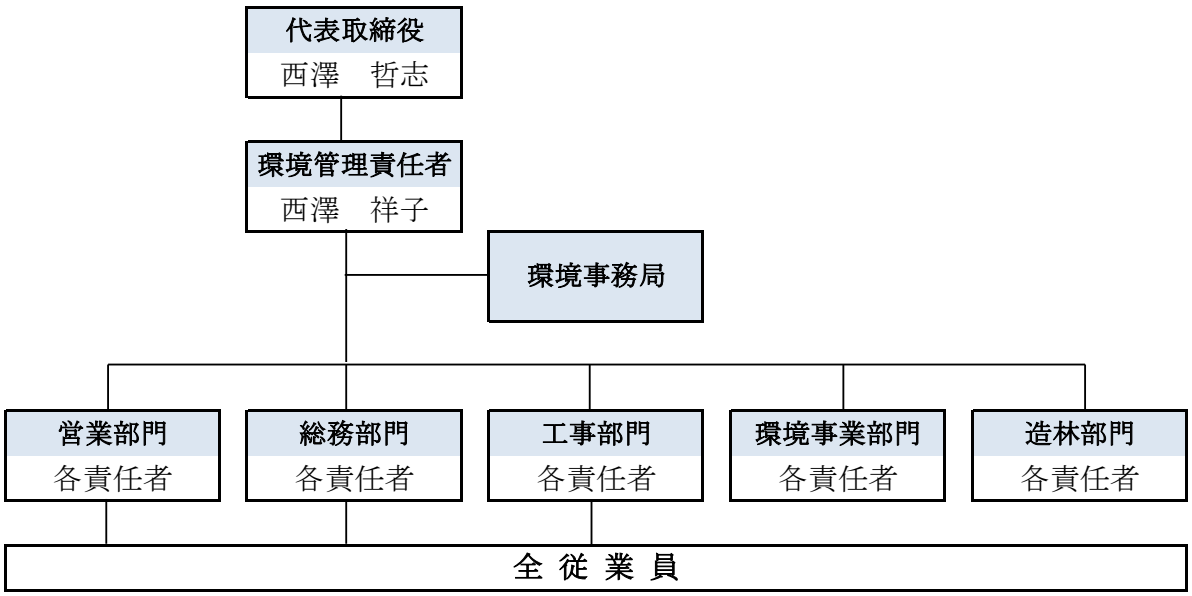
【行動指針】

1. 車両及び重機等の燃料消費削減により、二酸化炭素排出量の削減。
2. 本社・倉庫及び建設現場における廃棄物の
   3R（減量・再利用・再生利用）の推進。
3. 節水による水使用量の削減。
4. 事務用品及び建設資材のグリーン購入の推進。
5. ロードボランティア・地域の環境保全活動に取り組みます。
6. 環境関連法規及び条例等を遵守します。
7. 全社員にこの環境経営方針を周知徹底すると供に、
   環境経営レポートを外部に公表します。
8. 環境に配慮した工事を推進します。
9. 環境経営システムを継続的に見直し・改善を行います。

制定日　　2020年7月1日

株式会社　四国工営
代表取締役社長　西澤　哲志

４．環境管理組織実施体制



環境管理システム　役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者 （代表取締役）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムに関する経営資源の確保 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し、及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・課題とチャンスの明確化 ・EA21全体の評価・見直し
環境管理責任者	・環境経営システムの構築・実施・管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ・法令順守の確認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境経営の取り組み結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェック実施 ・環境経営の実績実績集計 ・環境関連法規等の取りまとめ表の作成 ・環境経営レポートの作成
営業部門 総務部門 工事部門 環境事業部門	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員対する教育訓練の実施 ・自部門に関する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的、積極的に環境経営に参加

5-1. 環境経営目標

【令和5年度の目標】

《全体》	単位	基準値	令和5年度の目標
		令和1年度	2023年4月から2024年3月 （基準値比　4%　減）
化石燃料使用量			
軽油	L	728, 626. 00	699, 480. 96
ガソリン	L	21, 542. 00	20, 680. 32
灯油	L	779. 00	747. 84
電力使用量	kWh	25, 837	24, 803. 52
ガス使用量	kg	12. 01	11. 53
CO2 排出量	kg-CO2	1, 943, 538. 25	1, 865, 796. 72
水使用量	m3	4, 418. 00	4, 241. 28
産業廃棄物排出量	kg	36, 760, 713. 53	35, 290, 284. 99
一般廃棄物排出量	kg	8. 0	7. 7
グリーン購入率	%	20. 00	22. 00
環境配慮工事	%	40. 00	38. 40
社会貢献活動	回	0. 00	1. 00
再資源化率	%	92. 80	90%の現状維持

《事務所》	単位	基準値	令和5年度の目標
		令和1年度	2023年4月から2024年3月 （基準値比　4%　減）
化石燃料使用量			
軽油	L	—	—
ガソリン	L	7, 369. 00	7, 074. 24
電力使用量	kWh	25013	24, 012. 48
ガス使用量	kg	12. 006	11. 53
CO2 排出量	kg-CO2	28488. 00	27, 348. 48
水使用量	m3	113. 00	108. 48
一般廃棄物排出量	kg	8. 00	7. 68
グリーン購入率	%	20. 00	22. 00
社会貢献活動	回	0. 00	1. 00

《現場》	単位	基準値	令和5年度の目標
		令和1年度	2023年4月から2024年3月 （基準値比　4%　減）
化石燃料使用量			
軽油	L	728, 626. 00	699, 480. 96
ガソリン	L	14, 173. 00	13, 606. 08
灯油	L	779. 00	747. 84
電力使用量	kWh	—	—
ガス使用量	m3	—	—
CO2 排出量	kg-CO2	1, 914, 676. 15	1, 838, 089. 10
水使用量	m3	4, 305. 00	4, 132. 80
産業廃棄物排出量	kg	36, 760, 713. 53	35, 290, 284. 99
環境配慮工事	%	40. 00	38. 40
再資源化率	%	92. 80	90%の現状維持

《自社処分場》	単位	基準値	令和5年度の目標
		令和1年度	2023年4月から2024年3月 （基準値比　4%　減）
電力使用量	kWh	824. 00	791. 04
CO2 排出量	kg-CO2	374. 10	359. 13

※電力のCO2排出係数は、四国電力の調整後排出係数0.528kg-CO2／kWhを使用。

5-2. 環境経営目標 【中長期目標】

《全体》	単位	令和1年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		実績（基準値）	目標（基準年比4%減）	目標（基準年比5%減）	目標（基準年比6%減）
化石燃料使用量					
軽油	L	728,626.00	699,480.96	693,651.95	687,006.88
ガソリン	L	21,542.00	20,680.32	20,507.98	20,311.52
灯油	L	779.00	747.84	741.61	734.50
電力使用量	kWh	25,837.00	24,803.52	24,596.82	24,361.19
ガス使用量	kg	12.01	11.53	11.43	11.32
CO2 排出量	kg-CO2	1,943,538.25	1,865,796.72	1,850,248.41	1,832,523.34
水使用量	m3	4,418.00	4,241.28	4,205.94	4,165.64
産業廃棄物排出量	kg	36,760,713.53	35,290,284.99	34,996,199.28	34,660,941.57
一般廃棄物排出量	kg	8.00	7.68	7.62	7.62
グリーン購入率	%	20.00	22.00	23.00	18.85
環境配慮工事	%	40.00	41.20	43.00	44.20
社会貢献活動	回	0.00	1.00	2.00	3.00
再資源化率	%	92.80	90%の現状維持	90%の現状維持	90%の現状維持

《事務所》	単位	令和1年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		実績（基準値）	目標（基準年比4%減）	目標（基準年比5%減）	目標（基準年比6%減）
化石燃料使用量					
軽油	L	—	—	—	—
ガソリン	L	7,369.00	7,074.24	7,015.29	6,948.08
電力使用量	kWh	25,013.00	24,012.48	23,812.38	23,584.26
ガス使用量	kg	12.01	11.53	11.43	11.32
CO2 排出量	kg-CO2	28,488.00	27,348.48	27,120.58	26,860.77
水使用量	m3	113.00	108.48	107.58	106.55
一般廃棄物排出量	kg	8.00	7.68	7.62	7.54
グリーン購入率	%	20.00	22.00	23.00	24.00
社会貢献活動	件	0.00	1.00	2.00	3.00

《現場》	単位	令和1年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		実績（基準値）	目標（基準年比4%減）	目標（基準年比5%減）	目標（基準年比6%減）
化石燃料使用量					
軽油	L	728,626.00	699,480.96	693,651.95	687,006.88
ガソリン	L	14,173.00	13,606.08	13,492.70	13,363.44
灯油	L	779.00	747.84	741.61	734.50
電力使用量	kWh	—	—	—	—
ガス使用量	m3	—	—	—	—
CO2 排出量	kg-CO2	1,914,676.15	1,838,089.10	1,822,771.69	1,805,309.85
水使用量	m3	4,305.00	4,132.80	4,098.36	4,059.10
産業廃棄物排出量	kg	36,760,713.53	35,290,284.99	34,996,199.28	34,660,941.57
環境配慮工事	%	40.00	41.20	43.00	44.20
再資源化率	%	92.80	90%の現状維持	90%の現状維持	90%の現状維持

《自社処分場》	単位	令和1年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		実績（基準値）	目標（基準年比4%減）	目標（基準年比5%減）	目標（基準年比6%減）
電力使用量	kWh	824.00	791.36	784.43	776.93
CO2 排出量	kg-CO2	374.10	359.28	356.13	352.73

※電力のCO2排出係数は、四国電力の調整後排出係数0.528kg-CO2／kWhを使用。

７．環境経営目標の実績

【令和5年度の実績及び目標達成状況】

《全体》	単位	基準年 令和1年度	目標 令和5年度	実績 令和5年度 4月～3月	目標達成状況 2023年3月から2024年3月
化石燃料使用量					
軽油	L	728,626.00	699,480.96	681,059.22	◎
ガソリン	L	21,542.00	20,680.32	22,007.96	△
灯油	L	779.00	747.84	293.00	◎
電力使用量	kWh	25,837.00	24,803.52	22,428.00	◎
ガス使用量	kg	12.01	11.53	3.48	◎
ＣＯ2 排出量	kg-CO2	1,943,538.25	1,865,796.72	1,819,113.58	◎
水使用量	m3	4,418.00	4,241.28	2,547.42	◎
産業廃棄物排出量	kg	36,760,713.53	35,290,284.99	16,030,808.00	◎
一般廃棄物排出量	kg	8.00	7.68	108.00	△
グリーン購入量	%	20.00	22.00	25.00	◎
環境配慮工事	%	40.00	38.40	43.00	◎
社会貢献活動	回	0.00	1.00	2.00	◎
再資源化率	%	92.80	90%の現状維持	96.30	◎

《事務所》	単位	基準年 令和1年度	目標 令和5年度	実績 令和5年度 4月～3月	目標達成状況
化石燃料使用量					
軽油	L	—	—	—	
ガソリン	L	7,369.00	7,074.24	4,604.09	○
電力使用量	kWh	25,013.00	24,012	22,426	○
ガス使用量	kg	12.01	11.53	3.48	○
ＣＯ2 排出量	kg-CO2	28,488.00	27,348.48	20,873.32	○
水使用量	m3	113.00	108.48	633.00	△
一般廃棄物排出量	kg	8.00	7.68	108.00	△
グリーン購入量	%	20.00	22.00	25.00	○
社会貢献活動	回	0.00	1.00	2.00	○

《現場》	単位	基準年 令和1年度	目標 令和4年度	実績 令和5年度 4月～3月	目標達成状況
化石燃料使用量					
軽油	L	728,626.00	699,480.96	681,059.22	○
ガソリン	L	14,173.00	13,606.08	17,403.87	△
灯油	L	779.00	747.84	293	○
電力使用量	kWh	—	—	—	
ガス使用量	kg	—	—	—	
ＣＯ2 排出量	kg-CO2	1,914,676.15	1,838,089.10	1,798,239.34	○
水使用量	m3	4,305.00	4,132.80	1,914.42	○
産業廃棄物排出量	t	36,760,713.53	35,290,284.99	16,030,808.00	○
環境配慮工事	%	40.00	38.40	43.00	○
再資源化率	%	92.80	90%の現状維持	96.30	○

《自社処分場》	単位	基準年 令和1年度	目標 令和4年度	実績 令和5年度 4月～3月	目標達成状況
電力使用量	kWh	824.00	791.04	2.00	○
ＣＯ2 排出量	kg-CO2	374.10	359.13	0.91	○

※電力のCO2排出係数は、四国電力の調整後排出係数0.454kg-CO2／kWhを使用。

軽油
工事減少につき目標達成は可能と思われる

ガソリン
遠方での工事が多くなっているため

灯油
使用する頻度は少ない

電力使用量
目標は達成できると思われる

ガス使用量
使用料は少ない。

ＣＯ2 排出量
工事件数減少の為

水使用量
事務所での使用方法を意識していきたい。

産業廃棄物排出量
下請業務が多いため

一般廃棄物排出量
ゴミの増加について意識しなければならない。

グリーン購入量
意識できている

環境配慮工事
意識できている

社会貢献活動
意識できている

再資源化率
維持できている

６．環境経営計画

《　２０２３年　4月　～　２０２４年　３月　》

確認	作成
西澤	溝渕

具体的な取り組み	対象（✔　記載）			担当責任者
1.燃料の削減	事務所	現　場	自社処分場	
・効率的な車両運転管理(移動経路等)	✔	✔		全社員
・アイドリングストップの運転	✔	✔		
・急発進、急加速、急停車の防止	✔	✔		
・暖機運転時間の短縮	✔	✔		
・エアコン使用を控えめにする	✔	✔		
2.電力の削減	事務所	現　場	自社処分場	
・昼休みはエアコンのスイッチを切る	✔		✔	総務部:事務員 営業部:課長
・空調機器のフィルター清掃を実施	✔		✔	
・昼休みは倉庫や事務所の照明を消灯	✔		✔	
・電器機器の消し忘れをしない	✔		✔	
・エアコンを適正温度に保つ	✔		✔	
・使用しない個所の消灯	✔		✔	
3.ガス使用量の削減	事務所	現　場	自社処分場	
・ガスコンロ使用時は適切な火加減を保つ	✔			総務部:事務員
・必要時以外の温水使用を控える	✔			
4.水使用量の削減	事務所	現　場	自社処分場	
・節水啓発シールの貼付け	✔			総務部:事務員 工事部:各現場責任者
・流しっぱなしにしない	✔	✔		
・二度流しを避ける	✔	✔		
・使用しない際は元栓を締める	✔	✔		
5.産業廃棄物の削減	事務所	現　場	自社処分場	
・産業廃棄物排出量の実績を把握する	✔	✔		総務部:事務員 営業部:課長 工事部:各現場責任者
・マニフェストによる適正処理	✔	✔		
・再資源化の推進	✔	✔		
・分別の徹底	✔	✔		
6.一般廃棄物の削減	事務所	現　場	自社処分場	
・ミスコピーの防止、両面コピーの徹底	✔			総務部:事務員 営業部:課長
・使用済み用紙への裏面利用の実施	✔			
・弁当等は各自が持ち帰る	✔	✔		
7.グリーン購入の推進	事務所	現　場	自社処分場	
・再生紙の導入	✔			総務部:事務員
・エコマーク、グリーンマーク商品の購入	✔			
8.環境配慮工事の推進	事務所	現　場	自社処分場	
・環境に配慮した施工工法の検討	✔	✔		総務部:事務員 営業部:課長 工事部:各現場責任者
・効率化を図り工期短縮を実施		✔		
・粉塵防止のため散水の徹底		✔		
・周囲住民への工事の周知や説明の徹底	✔	✔		
・苦情に対する適切な対応処置	✔	✔		
9.社会貢献活動の推進	事務所	現　場	自社処分場	
・ロードボランティア活動の実施	✔			総務部:事務員 工事部:各現場責任者
・事務所周囲での清掃活動	✔			
・受注した工事現場での美化活動	✔	✔		

８.環境経営の取組み計画と評価及び次年度の取り組み内容

《　２０２３年　4月　～　２０２４年　３月　》

確認	作成
西澤	溝渕

具体的な取り組み	対象の達成状況			取組み結果	取組み結果への評価 次年度の取組内容	担当 責任者
	事務所	現　場	自己処分場			
1.燃料の削減						
・効率的な車両運転管理(移動経路等)	○	○		事務所内では徹底出来ている。	目標達成は主に工事件数減少によるものだが、取組は継続的に実施し、各自の意識向上に努める。	全社員
・アイドリングストップの運転	○	△				
・急発進、急加速、急停車の防止	○	○				
・暖機運転時間の短縮	○	△				
・エアコン使用は控えめにする	○	△				
2.電力の削減	事務所	現　場	自己処分場			
・昼休みはエアコンのスイッチを切る	△		△	意識が薄かった	節電啓発シールを実施する等、意識の向上に取り組みたい。	総務部:事務員 営業部:課長
・空調機器のフィルター清掃	△		△			
・昼休みは倉庫や事務所の照明を消灯	△		△			
・電器機器の消し忘れをしない	○		○			
・エアコンを適正温度に保つ	○		○			
・使用しない個所の消灯	○		○			
3.ガス使用量の削減	事務所	現　場	自己処分場			
・ガスコンロ使用時は適切な火加減を保つ	○			徹底できた。	さらに意識の向上に取り組む。	総務部:事務員
・必要時以外の温水使用を控える	○					
4.水使用量の削減	事務所	現　場	自己処分場			
・節水啓発シールの貼付け	×			意識の向上ができた。	継続して実施する。 節水啓発シールを実施し、さらに意識の向上に取り組む。	総務部:事務員 工事部:各現場責任者
・流しっぱなしにしない	○	○				
・二度流しを避ける	○	○				
・使用しない際は元栓を締める	○	○				
5.産業廃棄物の削減	事務所	現　場	自己処分場			
・産業廃棄物排出量の実績を把握する	○	○		徹底できた。	目標達成は主に工事件数減少によるものだが、削減に向けての活動も十分に出来ている。今後も継続して実施する	総務部:事務員 営業部:課長 工事部:各現場責任者
・マニフェストによる適正処理	○	○				
・再資源化の推進	○	○				
・分別の徹底	○	○				
6.一般廃棄物の削減	事務所	現　場	自己処分場			
・ミスコピーの防止、両面コピーの徹底	×			意識が薄かった	取り組み方法を改め、改善していきたい。	総務部:事務員 営業部:課長
・使用済み用紙への裏面利用の実施	△					
・弁当等は各自が持ち帰る	○	○				
7.グリーン購入の推進	事務所	現　場	自己処分場			
・再生紙の導入	○			グリーンマーク商品購入ができた。	さらに積極的に購入するよう努める	総務部:事務員
・エコマーク、グリーンマーク商品の購入	○					
8.環境配慮工事の推進	事務所	現　場	自己処分場			
・環境に配慮した施工計画の提案	○	○		周辺環境への配慮を徹底し、工期短縮への取組もできた。	目標の達成は出来き、さらに作業効率化について検討して取り組む	総務部:事務員 営業部:課長 工事部:各現場責任者
・効率化を図り工期短縮を実施		○				
・粉塵防止のため散水の徹底		○				
・周囲住民への工事の周知や説明の徹底	○	○				
・苦情に対する適切な対応処置	○	○				
9.社会貢献活動の推進	事務所	現　場	自己処分場			
・ロードボランティア活動の実施	○			積極的な取組が出来た。	積極的に活動出来たため、さらに意識の向上に努める	総務部:事務員 工事部:各現場責任者
・事務所周囲での清掃活動	○					
・受注した工事現場での美化活動	×	○				

判定基準：〇できた　△あまりできなかった　×できなかった

９．次年度の環境経営計画

《　２０２４年　4月　～　２０２５年　３月　》

確認	作成
西澤	溝渕

具体的な取り組み	対象（✔　記載）			担当責任者
1．燃料の削減	事務所	現　場	自社処分場	
・効率的な車両運転管理(移動経路等)	✔	✔		全社員
・アイドリングストップの運転	✔	✔		
・急発進、急加速、急停車の防止	✔	✔		
・暖機運転時間の短縮	✔	✔		
・エアコン使用を控えめにする	✔	✔		
2．電力の削減	事務所	現　場	自社処分場	
・昼休みはエアコンのスイッチを切る	✔		✔	総務部：事務員 営業部：課長
・空調機器のフィルター清掃を実施	✔		✔	
・昼休みは倉庫や事務所の照明を消灯	✔		✔	
・電器機器の消し忘れをしない	✔		✔	
・エアコンを適正温度に保つ	✔		✔	
・使用しない個所の消灯	✔		✔	
3．ガス使用量の削減	事務所	現　場	自社処分場	
・ガスコンロ使用時は適切な火加減を保つ	✔			総務部：事務員
・必要時以外の温水使用を控える	✔			
4．水使用量の削減	事務所	現　場	自社処分場	
・節水啓発シールの貼付け	✔			総務部：事務員 工事部：各現場責任者
・流しっぱなしにしない	✔	✔		
・二度流しを避ける	✔	✔		
・使用しない際は元栓を締める	✔	✔		
5．産業廃棄物の削減	事務所	現　場	自社処分場	
・産業廃棄物排出量の実績を把握する	✔	✔		総務部：事務員 営業部：課長 工事部：各現場責任者
・マニフェストによる適正処理	✔	✔		
・再資源化の推進	✔	✔		
・分別の徹底	✔	✔		
6．一般廃棄物の削減	事務所	現　場	自社処分場	
・ミスコピーの防止、両面コピーの徹底	✔			総務部：事務員 営業部：課長
・使用済み用紙への裏面利用の実施	✔			
・弁当等は各自が持ち帰る	✔	✔		
7．グリーン購入の推進	事務所	現　場	自社処分場	
・再生紙の導入	✔			総務部：事務員
・エコマーク、グリーンマーク商品の購入	✔			
8．環境配慮工事の推進	事務所	現　場	自社処分場	
・環境に配慮した施工工法の検討	✔	✔		総務部：事務員 営業部：課長 工事部：各現場責任者
・効率化を図り工期短縮を実施		✔		
・粉塵防止のため散水の徹底		✔		
・周囲住民への工事の周知や説明の徹底	✔	✔		
・苦情に対する適切な対応処置	✔	✔		
9．社会貢献活動の推進	事務所	現　場	自社処分場	
・ロードボランティア活動の実施	✔			総務部：事務員 工事部：各現場責任者
・事務所周囲での清掃活動	✔			
・受注した工事現場での美化活動	✔	✔		

確認
溝渕 R5年3月3日

10. 環境関連法規等への順守状況の確認、評価結果

＊法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通り

適用される法規制	適用される事項（施設、物質、事業活動等）	遵守結果
廃棄物処理法	・知事の許可を受けた収集運搬業者又は処理業者の夫々と契約 ・委託契約は書面で ・委託処理内容など必要事項記載 ・収集運搬業又は処理業の許可証添付	○
	・全ての産業廃棄物に産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付	○
	・産業廃棄物管理票（マニフェスト）A票と共にB2票、D票、E票を5年保存	○
	・前年度の交付状況を報告	○
	・市町村が行う一般廃棄物の収集・運搬、処理に協力	○
	・建築物の解体時等における残置物の適切な処分	○
建設リサイクル法 （建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律）	元請業者は発注者に届出事項を記載した書面を交付し、説明しなければならない	○
騒音規制法	・指定地域内で特定建設作業を行う者は、その７日前までに市町村長へ届出	○
振動規制法	・指定地域内で特定建設作業を行う者は、その７日前までに市町村長へ届出	○
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程	・対策型ステッカー貼付の建設機械使用	○
大気汚染防止法	・ばい煙排出基準の遵守	○
ダイオキシン類対策特別措置法	・汚染状況の調査測定 毎年１回以上測定し、知事に報告	○
浄化槽法	・１回／年　水質検査の実施	○
フロン排出抑制法	・機器の廃棄等で回収したフロン類については、フロン類破壊業者、再生業者又はフロン排出抑制法施行規則第49条認定業者に引き渡す。 ・フロン類が充填されている業務用冷凍空調機器は、全て３ヵ月に１回以上の簡易点検を行う。 ・大型の機器は１年に１回以上、あるいは３年に１回以上の定期点検を必ず行い、年度ごとに算定漏えい量を計算する。	○

違反、訴訟等の有無　※活動期間中（2023/4/1～2024/3/30）これらに対する違反及び訴訟、関係当局からの指摘

なし。なお、当局から過去３年間、関係機関から違反訴訟の指摘はありません。

実施日:2024年　12月　12日

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

(1)取組の全体評価

環境配慮に対する認識を高めることができている。
全従業員の意識はまだまだ低いと思われるが、目標を達成できているものも多かった。

◎化石燃料などの使用量について

燃料・電気や排出量など、基準年目標値より工事量が大幅に減少しているため、ほぼ目標は達成できている。仕事量によって大きく変動してしまうが、具体的な取組みについてはこれからも意識し、今後も続けていく。

◎電力の使用量について

気温変化が著しく事務所のエアコンに対する温度管理は少し低かったように感じる。積極的な活動として節電啓発シールを実施する等、意識の向上に取り組みたい。

◎グリーン購入率について

意識的にグリーン商品該当を選ぶことができている。これからも必要な商品の購入時には、省エネ・エコ商品の購入を推進したい。

◎再資源化率について

建設工事に係る資材の再資源化率については90%代を維持できている。
今後も高いリサイクル率を維持するために分別を徹底し、90%以上を維持するように努めたい。

(2)見直しの経過

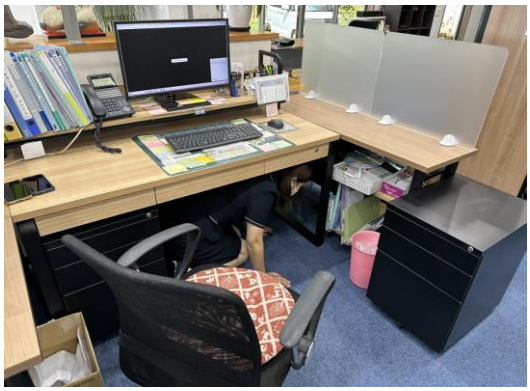
目標達成件数としてはかなり多く、昨年度に続き仕事量によって変動しているが、各取組としてはこれからも十分に達成させていきたい。充実した取組みを行うためにも活動計画を周知し、目標達成を続けていきたい。

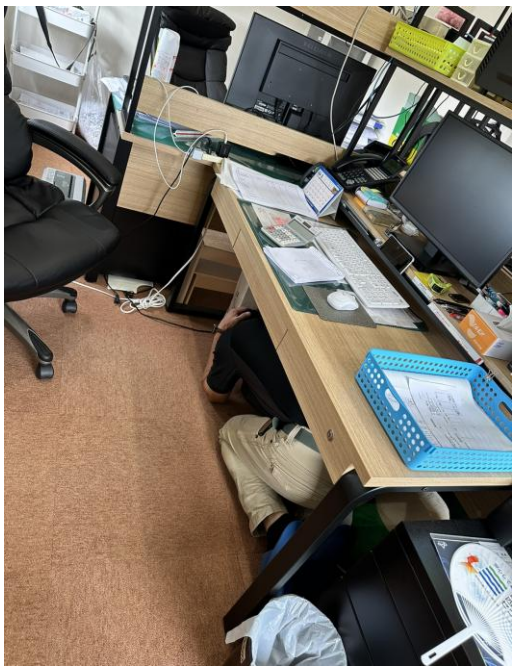
代表取締役　西澤　哲志

12. 環境経営取組状況

シェイクアウト訓練　　2023年10月

2023年10月　事務所内にて





ロードボランティア　　2022年4月～2023年3月

2022年12月28日　県道249号　高知県高知市布師田

2022年12月28日　県道384号　高知県南国市岡豊町蒲原

ロードボランティア　2021年4月～2022年3月

2021年12月26日　県道384号　高知県南国市岡豊町蒲原

2021年12月26日　県道249号　高知県高知市布師田

ロードボランティア　2019年4月～2021年3月

2019年12月27日　県道249号　高知県高知市布師田

照明をLEDに交換

SDGsの取り組み

令和4年6月1日

当社は、SDGsの内容を理解しSDGs達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

「自然溢れる四国　高知の地から、安心・安全・清潔な廃棄物サイクル活動」という経営理念のもとリサイクル率向上及び造林活動を行うことによりCO2削減に取り組み、周辺地域の環境への負荷を低減し豊かな自然を守ることに貢献致します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	重点的な取組及び指標の進捗状況	関連する番号
環境	造林活動を行い自然を守る -2022	造林業の拡大 (2022:30ha→2030:100ha)	森林整備及び植林活動を20%引き上げる (2022→2023)	17
社会経済	グローバル人材の積極的採用 (2022)	外国籍の雇用拡大・維持 (2022:5人→2030:8人)	国籍にとらわれない人材の雇用を1.6%引き上げる (2022→2023)	1
環境経済	バイオマス事業の推進 -2022	木質バイオマス燃料の増産 (2022:3万t→2030:3.6万t)	木質バイオマス燃料の製造を5%引き上げる (2022→2023)	19